

科目分類	専門基礎分野	学 年	1 年	担当教員の氏名・職名
授 業 科 目 名	病態生理学	学 期	後 期	大原 浩貴 内藤 嘉之（医師）
		単 位 数	1	
		時 間 数	26	
目的 (ねらい)	身体の構造や機能にみとめられる疾病の特徴、原因及び影響について学ぶ。			
目 標	1. 人体の構造と機能において正常から逸脱する場合のさまざまな症状・徴候のメカニズムに共通する現象を理解する。 2. 人体の構造と機能において正常から逸脱する場合の分類ができる。 3. 人体の構造と機能において正常から逸脱する場合の対処の原則を理解する。			
授業計画	担当教員：大原 浩貴			
	1. 総論			
	回数	単元項目	内容	授業形態/講義
	1	病理学総論	病理学で学ぶこと、細胞・組織の損傷と修復	
	2	病理学総論	代謝障害	
	3	病理学総論	循環障害(1)	
	4	病理学総論	循環障害(2)	
	5	病理学総論	炎症、免疫(1)	
	6	病理学総論	炎症、免疫(2)	
	7	病理学総論	感染症	
8	病理学総論	先天異常と遺伝性疾患		
9	病理学総論	腫瘍		
担当教員：内藤 嘉之				
2. 外科的治療と生体反応				
回数	単元項目	内容	授業形態/講義	
1	外科医療の基礎	手術侵襲と生体の反応、新しい創傷治療		
2	外科的治療を支える分野	麻酔法、外傷、ショック		
3	〃	体液管理と輸液療法、栄養		
4	外科的治療の実際	臓器移植		
教科書	(総論) ナーシンググラフィカ 病態生理学（メディカ出版） (外科的治療と生体反応) 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 （医学書院）			
参考文献	(総論) 病理学 疾病のなりたちと回復の促進1 （医学書院）			
評価方法	定期試験 100% 1. 総論 (100点×0.7) 2. 外科的治療と生体反応 (100点×0.3) 1. 2合計 100点満点での結果を最終評価とする。			
関連科目	解剖生理学Ⅰ・Ⅱ、臨床病態論、生化学、微生物学、栄養学、薬理学、看護学			
自己学習に関する指針	(外科) 教科書をあらかじめ目を通してきてください。 (総論) 講義内容の復習をこまめに行うこと。			
その他の 通知事項				